

# 日本私立病院協会会報

第271号

## 目次

◆ 巻頭言	1
新年の御挨拶 日本私立病院協会 会長 公益財団法人日産厚生会玉川病院 院長 中嶋 昭	
◆ 随 想	3
「過ぎたるは及ばざるが如し」 日本私立病院協会 常任理事 社会福祉法人九十九里ホーム九十九里ホーム病院 理事長 井上峰夫	
◆ 医学雑話 5	5
ホスピタルもホテルも同じ 日本私立病院協会 名誉会員 社会福祉法人慈生会ベトレヘムの園病院 顧問 星 和夫	
◆ 施設紹介	7
医療法人社団明芳会介護老人保健施設 クローバーのさと イムスケアカウピリ板橋 事務長 栗原 博	
◆ トピックス	10
◆ 最新情報 I	26
◆ 最新情報 II	44
◆ 最新情報 III	49
◆ 会議報告	64
◆ 学会案内	66

平成27年1月

## 施設紹介

### 医療法人社団明芳会介護老人保健施設 クローバーのさと イムスケアカウピリ板橋

事務長 栗原 博

平成26年10月1日東京都板橋区仲町1番4号にIMSグループ（中村哲也理事長）として17番目になる大規模複合型介護施設「クローバーのさとカウピリ板橋」を開設いたしました。板橋ナーシングホームの開設に伴い、東京都の公募（12法人）による「特別養護老人ホーム等施設整備・運営事業者の指定」を受けたIMSグループ（2法人、12サービス）による民設民営の介護施設です。



#### 【クローバーのさと 施設概要】

運営法人：医療法人社団明芳会・社会福祉法人明東会

理事長：中村 哲也

施設名称：クローバーのさと

所在地：東京都板橋区仲町1番4号

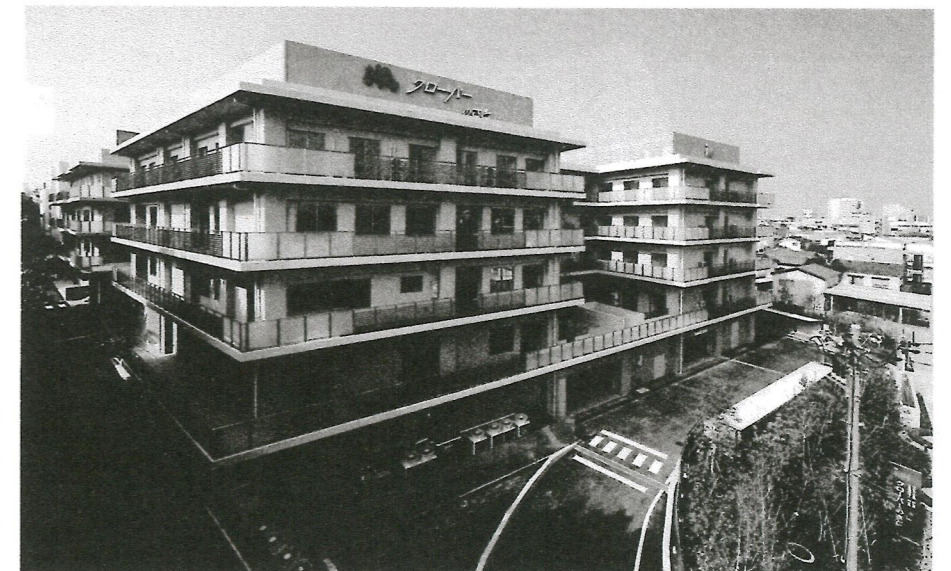
開設：平成26年10月1日

建物：地上4階・地下1階鉄筋コンクリート造

建築面積：5,512.62㎡

延床面積：20,183.7㎡

敷地面積：11,437.46㎡



クローバーのさと 外観

医療法人明芳会 クローバーのさと イムスケアカウピリ板橋	社会福祉法人明東会 クローバーのさと イムスホームカウピリ板橋
・介護老人保健施設 (88 床)	・特別養護老人ホーム (200 床)
・短期入所療養介護	・短期入所生活介護 (20 床)
・通所リハビリテーション (定員 80 名)	・通所介護 (定員 40 名)
・訪問看護ステーション	・認知症対応型通所介護 (定員 24 名)
・訪問介護ステーション	・都市型軽費老人ホーム (20 室)
・訪問リハビリテーション	
・居宅介護支援事業所	

入所系総数 328 床、通所系総数 144 名の利用者様にご利用頂けます。また板橋区内で初めてとなる都市型軽費老人ホーム(ケアハウス)と、福利厚生の一環としてのクローバー保育室を施設内に開設しています。



老健施設の約 400㎡を誇る機能訓練室

介護老人保健施設は、とくにリハビリ強化に努め在宅強化型老健を目指しています。そのためリハビリ室が広く(約 410㎡)・通所リハビリ(約 400㎡)、また老健には珍しく『レッドコード』で体性感覚システムを向上させる運動療法を行っています(感覚器の再教育)。



特養施設の多床室、プライバシーを重視した仕切り壁構造になっている

特別養護老人ホームは、一部ユニットおよび多床室から成ります。とくに多床室(4人部屋)は、各部屋に窓があり、またプライバシーに重点を置き、カーテン間仕切ではなく壁にて仕切りをしているため、個別的な生活空間になっています。



老健施設の 4 人部屋、チェストで区切られている各フロアともクッション性の高い床材を採用している

ご入所されている皆様が安全安心して生活が送れるように環境にも十分配慮させて頂いていますので、ご紹介いたします。

- ① 居住空間において不快な臭いを感じないために空間消臭除菌装置(間欠的に次亜塩素を自動噴霧)を設置しています。
- ② 感染予防のために自動湿度計で湿度を一定に保ち、間欠的に自動加湿しています。  
また冷暖房は生活のすべてを単一のエネルギーに依存するのではなく、自然エネルギー、ガス、電気を上手に使い分けたり組み合わせたりするベストミックスで対応しています。
- ③ 安全安心に暮らして頂くために、転倒時の危険に対して、通常は 2mm のシート材を床に貼り付けますが、当施設は 2mm のシート材の下に 5mm のクッション材を引き 7mm の床材に仕上げているので、転倒時の危険はかなり軽減されています。
- ④ 外部からの不審者の侵入を未然に防ぐために、防犯カメラ 15 台で 24 時間監視しております。また施設内部は電子錠で施錠されているため、許可なく施設内に入ることもできません。その他の場所等でも、いろいろと工夫をして、安全・安心に過ごして頂けるような施設づくりをしています。

クローバーのさとカウピリ板橋は、地域の方々が安心して住み慣れた場所での生活が送れるようにするための中核施設とっております。「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」など、地域包括ケアシステム板橋モデルを構築するために、さまざまな施設サービスおよび在宅サービスの機能があります。利用者様ごとにサービスを提供し、住み慣れた場所での安心した生活が長く送れるように協力させて頂きたいと思っております。

また地域の方々には、アトリウムホールおよび研修室などで、催し物などにご利用頂けるよう準備もしております。

クローバーのさとは、地域の方々に「愛し、愛される」施設づくりをしていきたいと思っております。



アトリウムホール